

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	農業施設等災害復旧事業	会計	一般会計	事業No.	567	施策順No.	41-018
		事業種別	政策・その他	予算科目	11-1-10-10-1		
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり			課等名	土木課		
施策	41 災害対策の推進		事業期間	開始	終了		

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	農業施設の災害か所						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない	
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
		か所数	212	36	64	61			
	意図	現状へ復帰する							
	対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
		災害か所数:か所	212	36	64		61		A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】		農業施設等に関わる災害が61件発生し対応した。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	災害復旧工事 ・異常な天然現象(時間雨量20mmを超える降雨量若しくは24時間雨量で80mmを超える降雨量)により生じた農業施設災害の発生に伴い、現地調査、被災状況の把握、長野県への被災報告を経て、災害査定を受け、工事実施を行う。 ・本災については、1か所の工事費が40万円以上である場合、本災扱いとなり、それ未満の災害復旧工事は単災で対応することとなる。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 農業施設等補助災害復旧工事 2 農業施設等単独災害復旧工事	1 工事個所数 2 工事個所数	1 2カ所 2 59カ所
23年度実施計画			

3 事業コスト

事業費	特定財源	国庫支出金			(県)農地補助災害復旧事業補助金(93.8/100)571千円 農業用施設補助災害復旧事業補助金(98.5/100)15,927千円 (地)災害復旧(充当率80%) (そ)農地補助災害復旧事業分担金56千円、農地単独災害復旧事業分担金1,082千円 22→23繰越明許費24,255千円
	特定財源内訳、補足事項	県支出金	40,389	16,498	
		起債	1,000	800	
		その他	1,137	1,138	
		一般財源	24,724	24,548	
	計(A)	67,250	42,984	1,000	
人件費計(B)		0			
トータルコスト A+B			42,984		

4 事業に対する市民や議会の意見

被災後すぐに受益者等から復旧に対する要望が市役所・支所等に数多く寄せられている。
--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	市民、市内滞在者、財産の災害や火災の被害を軽減する	施策の成果指標又はムトス指標	市民が災害にそなえている割合(%)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	異常な天然現象により発生した農業施設等の災害による営農等への影響を最小限とするため、早急な被災箇所の復旧を行うことが出来た。		
	後期に向けた課題	迅速な被災状況の把握。災害箇所の復旧。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	異常な天然現象により発生した農業施設等の災害発生に伴い、通常業務を一時ストップし、早急な被災箇所の復旧を行った		
	後期に向けた課題	全市的な大災害への対応		
コストを削減するためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	職員による測量、調査及び設計積算業務。		
	後期に向けた課題	特になし		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	受益者負担は農地災害では単独災害復旧は受益者負担3割を、補助災害復旧で1割の負担をいただいている。農地及び農業施設の補助災害復旧は現地調査、測量、復旧工事、補助率増高申請まで関与する必要がある。		
	後期に向けた課題	特になし		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしてみましたか、又は、配慮してききましたか	4年間の振り返り	農業施設等災害復旧事業の主体は飯田市。調査、設計復旧工事完了までの役割		
	後期に向けた課題	迅速なる災害復旧対応		
全体を通じて	4年間の振り返り	突発的に発生する農業施設等の災害復旧事業であるが、市民の営農に支障を来さないように、早急なる対応を行った。		
	後期に向けた課題	迅速なる復旧対応。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要がありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------